



軽費 / 特養 / 高齢者在宅サービスセンター / サービス付き高齢者向け住宅 / ケアハウス / グループホーム / 小規模多機能

No. 320号

2015(平成27年)3月

〒190-0022 東京都立川市錦町6-28-15 TEL 042-527-0031(代) FAX 527-2646

発行人：橋本正明

編集：広報委員会

ホームページ：http://www.shisei.or.jp/

Eメール：shisei-home@shisei.or.jp

Shisei Senior Service Center

「迫る介護保険制度改正と介護報酬改定」 「今こそ、「時代が変わっても 変わらない伝統 至誠ホーム」

至誠国分寺ケアセンター センター長 諏訪 逸

今年、介護保険制度改正と介護報酬改定の年にあたります。今改正は、制度施行以来最大とも言われています。

改正の主な目的は「地域包括ケアシステムの構築」と「利用者負担の公平化」とされています。既に各方面から情報が出されていますが、改めて主な点についてお知らせします。

1. 介護保険制度改正について

▼特養入居条件の厳格化と 補足給付の見直し

現在、特別養護老人ホームは要介護1以上の方が入居の対象となっていますが、今後はより重度の方のケア施設として位置づけられ、その対象が原則要介護3以上に引き上げられます。ただし、要介護1や2の方でも、重度の認知症やご自宅での生活環境等により、施設と市区町村とが協議の上、必要と認められれば入居できるとされています。

なお、既に入居されている要介護1や2の方は、引き続き入居が可能です。また、一定の資産がある場合は、食費・

居住費(滞在費)の一部を補足する対象から外れることとなります。

▼利用者負担の見直し(8月から)

介護保険サービスの利用者負担は、現在一律で1割負担となっていますが、介護保険料の上昇を抑え、負担の公平化を図るために、年金収入その他を合わせて、一定額以上の所得がある方については2割負担に引き上げられます。

▼予防通所介護・予防訪問介護の 在り方の見直し

現在、要支援1・2の方々が利用している通所介護および訪問介護は、予防給付として全国一律の単位・料金で利用することができ、今後、この2つの事業は予防給付から外れ、各市区町村の責任の下、その方の心身の状況に応じて、NPO法人やボランティア、あるいは地域住民の方々など多様な担い手により提供されることとなります。ただし、29年の3月末までの移行期間があり、各市区町村によって開始時期や運営方法はまちまちです。

2. 介護報酬改定について

制度の見直しとともに、提供するケアに対する介護報酬も改定されます。社会保障費の抑制などの理由から、特別養護老人ホームやデイサービスを中心に軒並み報酬は減額され、全体で2.27%のマイナス改定となります。

数字を見る限りでは小さく見えますが、金額にすると、至誠ホーム全体でも年間数千円の入減が見込まれます。

一方で、国は中重度の方への手厚いケアや介護を担う人材の確保・待遇の改善を進めるとしていますが、果たしてこの状況で、それがどこまで実現可能なのか懸念されます。

このように、今回の改正は、介護サービスの受け手、担い手双方にとって大変厳しいものと言わざるを得ません。

福祉サービスは、基本的に国の制度の
(次ページに続く)



通所介護の送迎風景

下で提供されます。そのため、制度や報酬が変更されるたびに、私たちはその時々に応じた経営と事業運営、人材やサービスの質の確保に翻弄されます。

しかし、制度がいくら変わろうとも、「まことの心」のもと、「その人らしさ」に焦点をあて、「明るく健康で豊かな高齢期の生活を支える」という至誠ホームの理念・伝統・実践は何ら変わるものではありません。

至誠コミュニケーションセンターの開設に向けて

至誠スオミケアセンター 副センター長 宮本 智行

立川市柴崎町にある「至誠コミホーム」、けして大きな建物ではありませんが、住宅街の真ん中にあり、まさに地域に密着した至誠ホームの拠点となつています。その至誠コミホームですが、現在、建てかえの工事を行っております。

ご存知かとは思いますが、至誠コミホームについて少しふれると、平成12年、柴崎町3丁目では生活されていた故巨海昭子様より、ご自宅であった家屋のご遺贈を受け、地域で生活される高齢者のための地域サービスの施設として整備し、平成13年5月、「至誠コミ

今年はこの先10年を見据えた至誠ホーム第3次中長期計画スタートの年でもあります。取り巻く環境は厳しくとも、「時代が変わっても変わらない伝統 至誠ホーム」を旗印に、新施設「アウリンコ」の開設や至誠特養のリニューアルを中心に、「介護施設を中核とした地域包括ケア」を展開していきます。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

ホーム」としてスタートしました。コミホームのネーミングは、ご遺贈された巨海様のお名前と、「地域」という言葉を英語にした「コミュニティ」とを併せたところからきています。

ネーミングの通りボランティアさんや民生委員さん、近隣に住住される方々に支えていただき、現在は、介護保険事業では訪問介護（ホームヘルプステーション）と、独自事業として近隣の高齢者が気軽に立ち寄り、社会交流や健康や生きがい作りのできる「いこいの場」との、2つの大きな柱で福祉事業を進めています。

「いこいの場」では、月曜日から金曜日の午後、定期的なプログラムの体操教室や音楽活動、そして近隣の高齢者が気軽に立ち寄り、おしゃべりしながらのお茶のみ場等々、不定期な活動では時にはみんなでちよつといのお店で会食したり、保育園との交流等々、介護保険や行政のサービスとは異なる形で地域をサポートできればと様々な活動を行ってきました。

さて、冒頭で挙げた建てかえの件に話を移します。ご遺贈いただいた家屋ですが、築40年を超え、経年劣化も進んできました。そのような状況の中、昨年度の至誠ホームのリーダーが集まる研修会にて、現場からの課題として建てかえの必要性が挙がり、今年度当初より話が具体化し、プロジェクトを立ち上げて進めてきました。



起工式風景

建物については、11月に取り壊し12月2日、地元、諏訪神社の神職様の進行により、橋本正明ホーム長はじめ、工事関係者、スタッフ30名近くが参列し、地鎮祭が厳かに執り行われ、工事がスタート、3月下旬に竣工の予定。以前と比べ2倍近い広さの建物が完成する予定です。

そして具体的な事業としては、介護保険事業では、錦町と柴崎町の2ヶ所で行っていた訪問介護事業が、コミホームに統合され、より大きな規模で運営されます。また、同様に錦町で事業を行っていた居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）もコミホームに移り、両事業が両輪となって地域を強力にサポートしていきます。

「いこいの場」事業については、工事期間中、多くの活動を休止していただきますので、まずは、改修前の活動内容に戻すことが第一段階、その後についてはまだ確定していませんが、新しい建物、活動スペースも、これまでより広くなります。世代間の交流、文化活動、勉強できる場、そして気軽に立ち寄ることができる場所等々、どのようにすれば地域の皆さんに貢献できるかを考える夢はひろがります。

介護保険とは異なる形で地域のニーズに応じた活動内容を地域の皆様にもご意見ご協力をいただきながら、作り上げていきたいですね。

第7回 マーガレットサロンを終えて



統括事務局 企画調整

鴨下真澄

去る1月9日、恒例のマーガレットサロンが今年も錦地区のホールで開催されました。

今年で7回目を迎えたこのサロンは、『フィンランド』の文化や風土をテーマにした講演会形式となっております。講師をお招きしての講演と同時に、フィンランドと深いつながりを持つ至誠ホームの紹介を兼ねているサロンです。

今回は、オーロラ写真家、「門脇久芳さん」をゲストにお招きし『オーロラファンタジー紀行〜一生に一度は見たいオーロラの魅力とオーロラの舞う

北極の地』と題して、たくさんのおーロラ写真を見せていただく機会となりました。

ご利用者、ご家族、ボランティアの方々をはじめ、チラシなどをみてご参加下さった地域の方など、総勢91名の方々の会場は満席となり、橋本ライヤさんのご紹介の後、いよいよ門脇さんのご講演となりました。

講演会では、オーロラ写真を見せていただきながら、オーロラの種類やできるメカニズムまで丁寧にしてユーモア豊かにお話いただきました。会場の皆さんもオーロラのみならず門脇さんのお人柄に引き込まれ、あつという間の2時間でした。

講演の最後には質疑応答の時間を設け、オーロラ観測ツアーの話など大変盛り上がり、和やかな雰囲気のなか終了しました。

なお、今回もフィンランド大使館のご協力を頂き、情報誌など多数お送りいただきました。そして、運営には多くの方々関わってください、本紙面上で改めて感謝申し上げます。

今後も地域の方との関わりを深めるためこのサロンを継続してまいりたいと存じます。

最後に、魅力的な写真と巧みな話術でお話いただきました、講師の門脇久芳さん、本当にありがとうございます。

高齢期を元気に

過「じょうろ」!!

専門職から「ジョブインテラー」



『災害食の備え』

阪神・淡路大震災から丁度20年が経過しました。

電気・ガス・水道のライフラインが止まり、復旧にかなりの時間を要しました。被災地の避難所には3日後には菓子パンなどの食料が届いたとの話もありましたが、配給が届いたのは、6日目だったとの話も聞かれます。

東日本大震災からも4年が経過します。2つの大きな震災から、備蓄量として、家族が1週間過ごせる最低限の水と食料の備えは必要と言われています。非常食の王様カンパン。30年前頃のものは、トンカチで叩いても崩れない位固く、やわらかく加工するのが大変でしたが、今のものは小麦粉を長期熟成発酵させ、遠赤オーブンで焼き上げて作っているとのこと、固さは少しやわらげられ、おいしくなっています。

かんぱんが固いのは、良く噛むことで唾液の分泌を促進。虫歯予防、口腔内を潤し消化吸収をよくし、満腹中枢や脳の働きを高める効果があります。一緒に梱包されている氷砂糖や金平糖も、糖分を補い、唾液を出しやすくする効果があります。最近では、食ベやすいビスケットタイプ、クラッカータイプでも、長期保存のものが販売されていますが、良く噛んで食べたいものです。

備蓄の仕方として常時食べているものを買って足していくのも良い方法です。乾物、缶詰、いも、玉ねぎなどの根菜類といった常温保存できるものは日頃から切らさないようにしておくこと、調味料は封を開けたら、新しいものを必ず補充しておきましょう。

栄養バランスを考え、食物繊維、ビタミン、ミネラルを含む切干大根、寒天、わかめ、のり、昆布、梅干し、お茶のティーパックなども備えましょう。嚥下困難な方にとろみ剤も大切です。

災害直後用には、そのまま食べられるものがよく、カンパン類の他に、缶詰、パック入りやレトルトごはん、加熱機能付きごはん、長期保存パン、練羊かんなどを準備しておきましょう。

台所にある材料で、災害後一週間過ごせるか考え、災害時に役立つ食材には、食べ慣れておくことが大切です。

(栄養士 岩木礼子)

地域包括支援センターコーナー

立川市北部中さいわい地域包括支援センター	042(538)	2339
立川市にしき福祉相談センター	042(527)	0321
国分寺地域包括支援センターもとまち	042(301)	5001
国分寺地域包括支援センターなみき	042(300)	3702
国分寺地域包括支援センターほんだ	042(300)	2339
調布市地域包括支援センター至誠しばさき	042(488)	1300

『介護予防と地域包括支援センター』

国分寺地域包括支援センターほんだ 矢羽々 真利子

2050年には総人口の40%が高齢者になると言われています。この事態を高齢者福祉に関わる身として傍観しているわけにはいきません。

今後、社会保障の破綻を防ぐために、健康寿命を延ばし高齢者の生活の質を高めていけるように、生活習慣病予防と介護予防が非常に重要だと言われています。

地域包括支援センターの業務にも介護予防があります。

一次予防対象者（活動的な状態にある高齢者）には精神的、かつ社

会的に活動性を維持向上していただくような働きかけが必要です。

包括ほんだでは出張健康相談や介護予防教室、サロン開催をしています。

二次予防対象者（要支援、要介護に陥るリスクが高い高齢者）に対しては、早期に発見し運動プログラム等の介護予防事業に繋がるような支援をしています。

地域包括支援センターは、高齢期を迎えた方々が意欲的、主体的に健康づくりをしていただけるように、これからも支援していきます。

「第44回利用者相談委員会報告」

前回9月の第44回至誠ホーム利用者相談委員会は、新たに2名の方を委員にお迎えして開催されました。

委員会での議題について、この場をお借りして報告致します。

なお、紙面の都合上、頂いたご意見とそれに対する回答については一部要約して掲載致します。



1. お手紙コーナー

お手紙26-01

「調布若葉ケアセンターで、主人はまだ足元がおぼつかない状態でお世話になっていますが、本人はお風呂を楽しむにしておかれています。本当に有難く心から御礼申し上げます」

（*回答者）至誠調布若葉ケアセンター 長 河合晴夫

利用者の奥様からのお手紙です。その後ご本人は83歳で今年お亡くなりになりました。このような言葉を頂戴し、有難く受け止めています。

お手紙26-03

「特養ホームの奥のトイレに縦棒のパイプをつけて頂けたらと思います」

（*回答者）至誠特別養護老人ホーム園長 吉上恵子

至誠特養ショートステイご利用者からのお手紙です。今回は3階ステーション脇のトイレを利用した際、つかまりバーを設置していない場所であったため、ご不便をおかけしました。対策としてすぐに業者に依頼し、設置が完了しました。

2. 専用電話受付

電話26-02 スオミデイサービス

「至誠ホームの車両が、日野橋の交差点で信号待ちをしていると半ば強引に入ってきて、その後も流れを止めて同じマークの車両を何台も前に入れていく。クラクションを鳴らしたら運転手が首をかしげているのが見えた」

（*回答者）至誠ホームスオミ園長 大村洋永

朝のデイサービス送迎が集中する時間帯に関して、ルートの見直しを行い、翌日から変更を行いました。これによって、今回苦情を頂いた事態を未然に防止するように改めました。加えてドライバーズ研修会を年に2回開催し、必ず出席するようにしてマナーとモラルの向上を図り、再発防止に努めることにしました。

電話26-03 さいわい地域包括支援センター

「予防プラン作成を相談したが、途中で説明のないまま担当者が変わってしまった。なぜなのか説明がほしい」

（*回答者）至誠ホームキートス園長 栗原文男

先方から担当者変更の強い申し入れがあり、即対応したつもりでしたが、結果的に相談者の意に沿わない対応となつてしまいました。本人にはその後担当者からお詫びをして納得していただきました。今回は担当者個人ではなく、チームで対応していく必要性を実感した案件でした

以上を含め、上半期はお手紙が4通、お電話が4件でした。次回下半期の開催は3月の予定です。

至誠ホームのサービスに関する
ご意見・ご要望・苦情の窓口
〒190-0022
立川市錦町6-28-15
至誠ホーム「利用者相談委員会」
専用電話 042(527)0374
FAX 042(527)2646

後援会コーナー

温かいご援助に感謝!

至誠ホーム長 橋本 正明

至誠ホームの新施設建設という新しく、そして大きな夢に対して後援会様からの力強いご支援に心からの感謝を申し上げます。

昨年、総額3百9拾7万円という大きな資金のご寄付を頂きました。会員様358人様からの浄財です。新施設は本年11月ごろの着工を目指して、現在東京都と協議を進めております。

新しい施設「アウリンコ」は地域包括ケア支援フロンティアを準備した複合型介護施設です。開設予定は平成29年4月、楽しみにお待ちください。地域の皆様のお役に立てる施設となります。

後援会会長に就任して



師岡 恵美子

日頃より至誠ホームへのご支援ありがとうございます。今年度より梅田会長の後任として後援会会長を引き受けさせていただきます。

橋本ホーム長よりボランティアアグループを立ち上げて欲しいとの言葉を受けて、早いもので22年近くが過ぎます。一度も立ち止まる事なく、むしろ利用者の方々と職員さん、ボランティアの仲間

支えられ、子供達の結婚や両親の介護等大切な時期を、たくさんの経験談や励ましのお陰で乗り越えてきました。

そして今、理事等役員を受ける中「まことの心」の基本柱がしっかりと貫かれている至誠学舎の理念に、自分の生き方と共感出来たからこそ続けてこられたのかと思います。

平成29年開設予定の新介護複合型施設の準備も進んでおります。どうぞ至誠ホームをこれからも皆さんの相談場所としてご利用下さい。私も微力ながら、利用者の方々の笑顔に支えられてがんばってまいります。

平成26年度事業報告

1. 役員会(第1回) 平成26年5月27日(火) (至誠ホームスオミ4階)
2. 役員会(第2回) 平成26年10月1日(水) (法人本部研修センター まこと館)
3. 役員会(第3回) 平成26年12月10日(水) (至誠ホームスオミ4階)
4. 永年会員褒章 第63回至誠ホーム開設記念 感謝のつどい 平成26年6月7日(土) 40年1名、30年4名、25年8名、20年10名、15年7名、10年17名、5年18名 合計65名
5. 感謝のつどい・長寿を祝う会にお花を贈る
6. 会費納入願い発送(2月全会員にご紹介 キャンペーン添付)(9月未入金者)
7. 至誠ホームへ寄付3,970,000円 (内訳:寄付金2,203,000円、会費1,767,000円)

平成27年度事業計画

1. 役員会
2. ホーム事業協力 開設記念日、長寿を

祝う会にお花を贈る
3. 永年会員褒章 感謝のつどいに於いて
4. バザー協賛
5. 至誠ホームへ寄付
6. その他
後援会会費納入者ご芳名
誠に有難うございました。
(敬称略・順不同)

- 平成26年12月1日〜平成26年12月31日
- 田代啓美 篠田紀子 飯村 睦
 - 近森英子 鳥山八重子 清水紀代子
 - 浅見富江 兼森美津子 片桐俊子
 - 高野依利子 青木和子 安本善理
 - 清水富男 清水真理子 庄司洋子
 - 松村恵子 以上16名

平成26年度収支決算書

<収入の部>至誠ホーム後援会 単位:円
平成26年1月1日〜平成26年12月31日

科目	26年度決算	26年度予算	差引額	摘要
前期繰越金	968	968	0	
会費収入	1,910,000	2,100,000	▲190,000	358件
寄付収入	2,203,000	1,600,000	603,000	140件
雑収入	14	220	▲206	銀行利息他
計	4,113,982	3,701,188	412,794	

平成27年度予算書

<収入の部>至誠ホーム後援会 単位:円
平成27年1月1日〜平成27年12月31日

科目	27年度予算	26年度予算	増減額	摘要
前期繰越金	24,947	968	23,979	
会費収入	2,000,000	2,100,000	▲100,000	
*寄附収入	0	1,600,000	▲1,600,000	
寄付預り金	1,700,000	0	1,700,000	
雑収入	100	220	▲120	銀行利息他
計	3,725,047	3,701,188	23,859	

<支出の部>

科目	26年度決算	26年度予算	差引額	摘要
通信費	28,255	50,000	▲21,745	はがき、切手等
印刷費	2,100	20,000	▲17,900	
会議費	10,036	10,000	36	
振込手数料	30,044	36,000	▲5,956	振替口座手数料他
事業費	48,600	50,000	▲1,400	ホーム事業参加費他
雑費	0	5,188	▲5,188	
寄付金	3,970,000	3,500,000	470,000	至誠ホームへ寄付(会費収入分1,767,000円含む)
予備費	0	30,000	▲30,000	
次期繰越	24,947	0	24,947	
計	4,113,982	3,701,188	412,794	

<支出の部>

科目	27年度予算	26年度予算	増減額	摘要
通信費	42,000	50,000	▲8,000	はがき、切手等
印刷費	15,000	20,000	▲5,000	封筒印刷代
会議費	20,000	10,000	10,000	
振込手数料	36,000	36,000	0	振替口座手数料他
事業費	50,000	50,000	0	開設記念・長寿祝い
雑費	29,947	5,188	24,759	
寄付金	3,500,000	3,500,000	0	至誠ホームへ寄付
予備費	32,100	30,000	2,100	
計	3,725,047	3,701,188	23,859	

* 寄付金収入については後援会のご尽力、呼びかけより集められたお金で「預り金」として処理し随時ホームに寄付しております。

ボランティア受入/福祉学習協力状況

Table with 3 columns: 種類, 期間, 平成26年度12月~1月, 平成26年度累計. Rows include 一般ボラ, インターンシップ, ボランティア体験, 実習・研修, 体験学習, 見学・視察, ご慰問・ご招待.

ボランティア活動状況 活動内容別

Table with 3 columns: 活動内容, 期間, 平成26年度12月~1月, 平成26年度累計. Rows include 生活支援, 健康づくり, 生き甲斐支援, 地域支援, 行事, 事務等, ボランティア体験, 合計.

ボランティア活動状況 地区別

Table with 3 columns: 地区別, 期間, 平成26年度12月~1月, 平成26年度累計. Rows include 錦・調布地区, 幸・柏地区, 国分寺地区, 合計.

至誠ホーム利用者状況 (平成26年12月1日~27年1月31日) ():実人数

Large table with 4 columns: 事業内容, 12月, 1月, 累計. Rows are categorized by 事業内容 (e.g., ふれあい夕ごはん事業, ホームケア食事サービス) and 事業種別 (e.g., 自主事業, 委託事業, 介護保険).

* 入居施設定員 至誠特別養護老人ホーム150名、至誠ホームキートス70名、至誠ホームミナ小規模特養29名、至誠和光ホーム50名、至誠ホームスオミ・ケアハウス50名、至誠ホームスオミ・グループホーム9名、調布若葉ケアセンターグループホーム18名、至誠ホームミナグループホーム18名
* サービス付き高齢者向け住宅せせらぎ15戸 サービス付き高齢者向け住宅フラット「楽」7戸
* 訪問介護は提供時間

ホーム日誌

平成26年12月1日~平成27年1月31日
CH・ケアハウス、GH・グループホーム
自主研・職員自主研修会 国・国分寺ブロック
12月
至誠コミホーム地鎮祭
自主研・認知症高齢者への介護サ
ビスの向上を目指して、法的観点か
ら、
餅つき(錦)
ともしび法話会(錦)/デイホーム家
族会(キートス)
衆議院議員選挙不在者投票(錦)
後援会役員会
給食委員会(和光)/コーヒータ
イム(国)
クリスマス会(至誠特養)/ハッピー
サンクスパーティー(スオミCH)/餅つ
き(調布若葉)/衆議院議員選挙不在
者投票(キートス)/職員忘年会(立川
ランドホテル)
おもちや図書館(キートス)
ぱらっとなみき(和光)
納骨堂清掃
全体集会(錦)
和光役員会(和光)
おもちや図書館(キートス)
運営推進会議(スオミCH)
運営懇談会(スオミCH)
居酒屋キートス/コーヒータ
イム(国)
餅つき大会(国)
1月
新年祝賀式(錦・スオミGH・調布若葉
GH・キートス・国)/新年萌黄色の集
い(スオミCH)
給食委員会(和光)/食事懇談会(キ
ートス)/コーヒータ
イム(国)
至誠ホーム家族会幹事会(錦)/餅つ
き・キートス集会(キートス)
ホーム委員会・給食委員会(至誠特養)
新春クラブ発表会(錦)
和光役員会(和光)/開設記念を祝う
会(調布若葉)
どんど焼き(錦)/せせらぎ新年会/
第三者評価訪問調査(キートス)/自

主研・社会福祉施設経営管理者海外
研修・調査(ドイツ・スペイン)参加
報告会
ぱらっとなみき(国)
17日
陶芸教室・おもちや図書館(キートス)
18日
和光集会(和光)/認知症支援事業
例検討会(キートス)
21日
コーヒータ
イム(国)
22日
理事会・評議員会/ともしび法話会
(錦)/新人居者家族懇談会(キート
ス)
24日
居酒屋キートス
27日
運営推進会議(国)
28日
運営懇談会(スオミCH)
29日
悠遊倶楽部世話人会(キートス)
31日

感謝録

温かい御支援・御協力下さいました方々に厚く
御礼申し上げます。(敬称略)
平成26年12月1日~平成27年1月31日

① 金員の部

師岡恵美子 岡内玲子 岡内繁和
原 忠昭 小川菜美子 永島律子
東京少年友の会 春日俊介 清水紀代子
村越雪枝 下東玲子 新井セツ子
吉上雅喜 石川敏子 (株)テクノコーポレ
ション代表取締役会長 新國浩之 澤田喜美子
大塚もりみ 大塚清美 齋藤哲夫・佐知子
南雲英子 大山勝美 中山真知
嶋崎美智子 村田邦美 安本善理
安田良子 青木和子 至誠ホーム北欧会一同
庄司洋子 至誠ホーム後援会会長梅田尚裕
高橋利一 橋本正明 春山順子
あゆみの箱 和光ホームあゆみの箱
40件(延27件)

② 物品の部

東京都板橋ナーシングホーム 袖の会
立川市立第九中学校 老人クラブ玉水会会長
木下衛 (株)三菱地所設計総務部
(株)YAZAWA LUMBER
本町化学工業(株) 梅田会計事務所 木下正己
(株)川原経営総合センター「ぶくろう会」事務局
光原エミカ (社)福 東京都社会福祉協議会
東京善意銀行 昌樹寺井舟哲全

小川千枝子 木浦康雄 伊藤菜摘 宗教法人真如苑 18件(延88件)

③ ボランティア

(1) 一般ボランティア(錦地区)

【立川市】 立正佼成会壮年部ボランティアチーム NPO法人立川レクリエーション協会 おはなしたまご 髪職人菊正会 錦六茶友会 真如苑社会貢献部 鈴の会 談話室アイアイ など

しこ みどりの会 もみじ会 朗読サークルこえ ジャスミン 日本キリスト教団立川教会 遊木会

相庭鳩枝 赤松富子 綾部 勇 荒井百合子 安藤道子 五十嵐和子 磯野俊雄 磯野初子 伊藤信子 今村サユリ 岩谷淳子 上野和夫 梅津美和子 及川悦子 大古春子 大澤康子 及川清一 大館純子 小川 隆 奥 一郎 奥 陽子 小栗カツ子 尾蘭栄子 小俣かつ江 梶浦善江 加藤衣子 加藤恵美 加藤和夫 加藤 清 加藤久美子 加藤典子 金澤ンズ子 狩野理恵 神田ミヨ 菅野寿菜 岸 幸子 木村千世子 木村玲子 蔵田郁枝 黒羽里枝 小松万壽子 近藤庄司 境田美夏 坂本美智子 佐藤さち 佐藤爽一 佐藤美智子 佐藤ゆかり 篠村綾子 下東玲子 鈴木幸子 鈴木文 鈴木恵子 ジョージ兼路 杉田幸子 高橋幸子 鈴木 文 高田和彦 高橋禮子 田中彩絵 田中由紀子 田村和子 遠山百世 中澤彩乃 永野和江 永山幸子 橋本早紀子 橋本美津子 橋本ライヤ 島山千夏 島山知也 初沢徳己 坂場雛子 浜中広見 深水芳子 福田のり子 福原ミナ代 古谷文子 宝諸博文 前中光雄 松田廣子 水田康子 水野美鈴 茂木ハマ子 百瀬千枝 安ヶ平金造 山崎耕造 山下記代子 山田ハル江 山本久仁子 山本 元 義江明子 吉川厚子 吉田一男 若村ふみ子 渡部調匡 渡辺正志

【日野市】 ウケホアへレ

クイーンマジッククラブ 音楽ひろば 池田貞栄 石井匡代 今井幸子 岩下昭子 遠藤宣子 大場春子 金尾眞砂子 小塩菊子 阪口満里子 渋川朝子 須山ひとみ 竹内美幸 直井 節 永島律子 西垣まき子 西野益石 西山寛子 平沢 一雄 目黒美知子 吉崎武子

【国分寺市】

温品典子 久野安沙子 向井みどり 諸井 緑 前田博美 芳賀邦正 聖書の会 ともしび法話会

【他市】

阿川聡子 磯崎静子 井上知加子 小川滋子 加藤晴枝 島村正博 白子健治 鈴木保明 瀬戸章子 高場千絵 丹治信江 二階堂耕司 堀 浩光 福田のり子 堀野秀美 矢挽千穂 渡邊綾子 延99名

【立川市】 おもちゃ図書館 音楽隊

柏町同地隣人会 朗読サークルこえ 幸オカリナサークル 立川ホルルウクレレクラブ アンサンブルカリヨン 上水めぐみ教会 青木融子 青柳久美 浅川恵子 網代とも子 阿部たい子 荒井和子 池田三郎 石川悦子 板羽多枝子 市谷諒子 伊藤和子 稲垣明子 岩田綾子 鷯沢けい子 梅津美和子 奥野智恵子 織原良江 加賀晴子 金森 耐 権沢啓二 萱生佳子 河野美和子 菊池正勝 北瀬明子 絹谷光江 木村浩通 草場久子 栗本和夫 紅林由美子 黒田真知子 神山喜久江 斉藤 博 佐伯節子 酒井恵子 櫻井百合子 佐々木サチ子 貞島哲嗣 澤田照代 三中西せい子 三中西博介 柴田きよ子 城 和子 静田記代子 柴田きよ子 関根太治 鈴木洋子 関 悟朗 高橋明子 高橋喜久江 高橋珠美 高橋征子 高橋雪子 高橋好弘 武井容子 田中清子 田中秀穂 田中真知子 田中美智子 田邊シゲ子 谷本鈴響 辻 靖子

土屋梯子 鶴巻清子 中嶋カツ子 仲田淳子 中根幸子 中野庸夫 成田 綴 西山靖子 二瓶洋子 西村次子 萩原光子 服部ちづ子 根津和子 羽村ミサ子 原 静江 濱田弘子 別府ひろ子 堀田芳子 藤原大生 本間和吉 前田きよ子 本間秋子 町田好久 溝口礼子 松本恵美 宮坂一栄 松本伊ツエ 松本忠実 松本和美 向島よし江 嶺岸貞子 宮坂一栄 持丸 治 村野紀美子 村野順大 持丸弘子 持丸弘子 本木紀作 元島美子 桃野幸子 谷治晴子 山川和代 山口弘子 山崎絹江 吉村竹美 米澤 稔 若月里美 渡辺佳子 渡会和子 渡会弘恭

【国分寺市】

井上允恵 小野千代 小野俊雄 勝倉ナホミ 時枝由美子 中山淳子 橋本美穂 藤本睦代 山本佳子

【他市】

伊藤 滋 乾 由紀子 内田喜美子 内田純子 大西次子 小澤 廣 影山和子 児玉早苗 櫻井千佳子 佐々木染子 鈴木真弓 鈴木洋子 高野信子 伊達美紀子 富永勝人 富永允信 錦織雅子 林 幸子 菱山好雄 肥田木雅子 福島史己 保坂栄子 松井順子 村田敏郎 山越美津江 山田佳子 横川澄子 横川好行 若杉恵美子 渡辺保子

【立川市】 東 トク 安部 操

飯村 睦 石橋京子 市村敏雄 岩田綾子 黒岩三三子 黒田直子 小林正子 小林好子 小山安子 篠田紀子 鈴木真弓 高橋明子 高橋雪子 近森英子 中野庸夫 野口京香 羽村みさ子 土方和子 平野富士枝 広木かほる 福西正弘 師岡恵美子 広木かほる 延136名

【国分寺市】 原垣内和加子 角 文喜

熊崎咲子 熊崎 弘 佐野文字

濱ひで子 中村啓子 笹谷信子 滝沢百合子 井上和江 丸山秀雄 栗原克徳 延74名

【他市】

菅野彰子 福田洋子 吉富晶子 萬 由美 延47名

【調布市】 伊藤英丸 石橋隆二

江上芳子 益 イツ子 大村哲夫 押部忠康 狩野富枝 上條剛史 小泉圭右 齊藤 孝 田代和美 中澤禮吉 中島玲子 萬 由美 渡辺隆雄 延68名

【調布市】 鈴木委子 田中百花

田村眞智子 野口未奈 延31名

(2) ボランティア体験

至誠保育園 延67名 (キートス) 立川市立立川第七中学校 延12名 (柏センター) なし (ミンナ) なし (もとまち) なし (調布若葉) なし

福祉学習協力

(1) 実習研修 ◎社会福祉士実習 NHK学園 戸ヶ崎 由美子(12日間) 計1名 延12日 ◎介護福祉士実習 東京YMCA医療福祉専門学校 永井 莉奈・萩原侑也(各11日間) 計2名 延22日 ◎ユニットリーダー研修 今井佑美・中村さちよ・和田泰典・中村航希・荒木聖・佐山美穂・染谷和子・平野絵梨佳・山田昌也・伊澤篤・池野拓也・山岸しづ代・山田直仁(各5

日) 計13名 延65日 ◎その他研修 杏林大学 在宅看護学実習35名(各1日) 計35名 延35日

(2) 体験学習

錦地区 教員免許取得のための介護等体験 東京学芸大学(7名)・明星大学(1名) 計8名 延40日

(3) インターンシップ

キートス地区 なし (4) 見学・視察 文教学院大学人間学部(21名)・十文字学園女子大学(8名)・中国の養老施設運営に携わる方(8名)・西下東京経済大学教授 ほか諸外国の方(7名) 計44名 累計138名

(5) ご慰問・ご招待

どんぐりの会8名 計1件 累計3件

△訂正とお詫び No.316「社会福祉法人と社会福祉施設(1)」の本文第1段14行目に校正ミスがございました。誤:「また28条では」 正:「また89条では」の間違いでした。 お詫びして訂正いたします。



ドイツ・スペインの福祉事情

至誠ホームミナ 園長 旭 博之



ちよつと前の話になりますが昨年9月1日から11日間、社会福祉試験・振興センター主催の「社会福祉施設経営管理者海外研修・調査 ドイツ・スペイン」に参加いたしました。

全国から総勢14名の参加者で、行政・児童・障害・高齢の各分野について二か国で見学・説明を中心に勉強してまいりました。

羽田からトランジットを含め16時間を要してベルリンへ、7時間の時差をもとめせず元祖「介護保険」の国へ降り立ちました。

改めて、ベルリンは国の首都であり、州都である。また、視察先となったシヤロットテンブルク市で全般的な説明をしてくれた議員さんは、「市民代表」で「厚生担当議員」という説明でした。行政機構の違いから、制度・施策の理解には難しいものがありました。しかしながら、財政的に持続可能な制度について模索しているという説明が多くあり、高齢社会に共通する一番の課題と確認させられました。

高齢者サービスの施設には、一年に一度の厳しいサービス評価があつて、

その点数によつて運営経営に大きな影響があるという話でした。日本でも第三者評価やサービス公表の仕組みがありますが、日本のように二重三重に重複した仕組みではなく当然の如く合理的で効果的な感じでした。

日本でいうと特養にあたる介護施設で説明を担当したフロアリーダーによると「社会制度の一翼を担っているという実感がやりがいと有実感になっていて充実している」という話が印象的でした。



スペインではバルセロナで行政説明と、障害者施設を視察しました。スペインは南ヨーロッパでの福祉先進国だそう、ギターとフラメンコそれにワインといった程度の浅薄な知識に己の貧しさを痛感させられました。

いわく基本的に、生まれてから死ぬまで医療・福祉はすべて無料だそうです。また人口2〜3千人ごとに分野を横断する専門職のチームが存在し、高齢、児童などの分野ごとでなく、世帯や地区を包括的にとらえ援助する仕組みが作られているという説明でした。日本でもやつと「地域包括支援システム」という言葉が馴染んできましたが、バルセロナではすでに完成している様子でした。ただし、ユーロ内の自由往来と観光都市の影響から「移民対策」が比重として日増しに大きくなつていて、大きな格差社会である米国とは違う「平等」というヨーロッパ主義、大きな誇りをこの先も守れるのが課題だという話に、その国特有の事情を感じました。

マドリッドでの高齢者施設は、日本でいう特養と有料ホームがツインビルになったようなユニークな施設でした。高齢化率14%そここの状態ですから、高齢者福祉や介護の問題はまだまだマイナーな存在のようで、入居の仕組みなどは、日本の措置制度を思い出させる感じでした。充実した研修に参加させていただき感謝でした。

早めの住み替えで充実した高齢期の暮らしを！

スオミ・ケアハウス「お二人部屋」空室あります！
ご夫婦・姉妹・親子など、どちらかが60歳以上の自立されている方が対象です。

(利用料)
Cタイプ 45㎡ 月額一人あたり 84,360円～
Dタイプ 58㎡ 月額一人あたり 90,210円～
*利用料には、居住費(家賃)、生活費(食事代など)、サービスの提供に要する費用(収入によります)が含まれます。
(設備) 緊急呼び出しボタン、水センサー生活異変システム、ミニキッチン、納戸、トイレ、フロ、洗面
*ヨガ、スポーツ吹矢、パソコン、水彩画など各種セミナー実施
お問い合わせどうぞよろしくお願致します。
042-527-0033 担当：佐藤



Dタイプ リビングと寝室



トイレ・フロ バリアフリー

「楽」空室情報

平成27年3月1日現在

- ☆サービス付き高齢者向け住宅
「高齢者フラット楽」(国分寺市並木町)
- ☆お一人用/1部屋 お二人用/1部屋
- ☆入居条件/入居時は健康で自立して生活できる方
- ☆賃料/月額 104,000～162,000円
管理費 2,000/月
- 【お問い合わせ先】 国分寺市並木町 3-12-2
電話 042 (300) 3700
担当：益子まで